

# KOLA

岸和田

オリエンテーリング協会

・編集部・ 〒596

岸和田市西之内町508

1989・寺田保

第73号 平成12月10日(日)

## 希望が丘

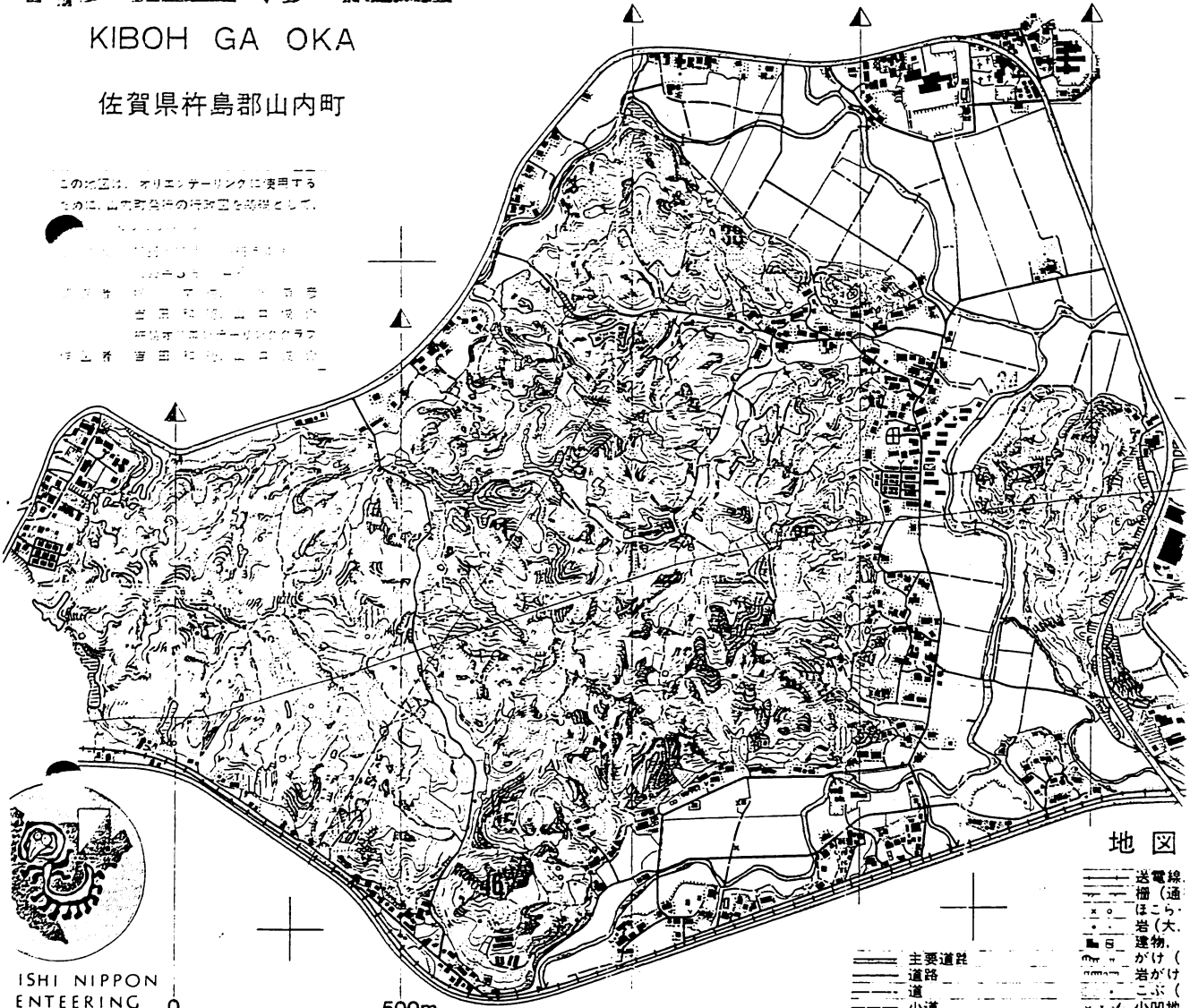
平成元年度西日本オリエンテーリング  
トレーニングコース

KIBOH GA OKA

佐賀県杵島郡山内町

この地区は、オリエンテーリングに使用する  
ために、山形町自治体の行政図を略図として、

縮尺 1:15,000  
等高線間隔 5m  
主要道路 道路 小道 小径 切り開き 植生界(明確・明瞭) 石垣



ISHI NIPPON  
ENTERING  
PETITION

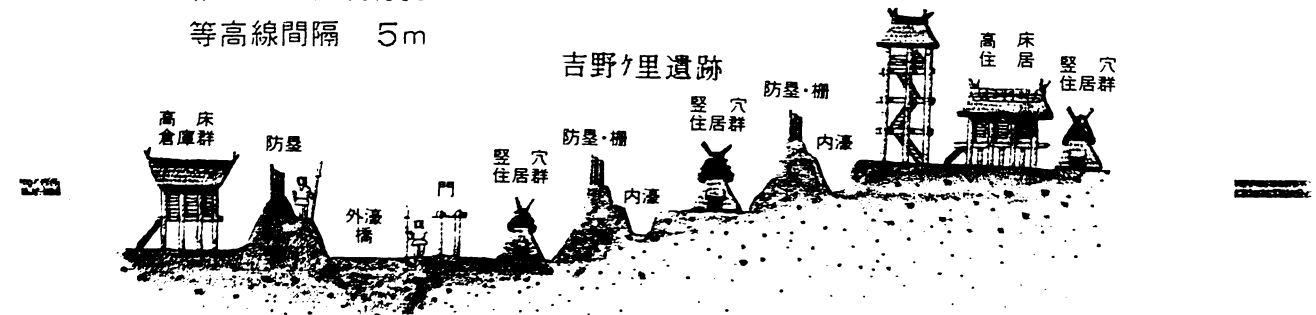
0 500m

縮尺 1:15,000

等高線間隔 5m

地図

- 送電線
- 柵(通)
- ほこら
- 岩(大)
- 遺物
- がけ(岩)
- こぶ(小凹地)
- 河川(送)
- 湧水点
- せき
- ため池
- 主要道路
- 道路
- 小道
- 小径
- 切り開き
- 植生界(明確・明瞭)
- 石垣



吉野ヶ里遺跡

高床倉庫群 防塁 外濠橋 竪穴居群 防塁・柵 内濠 竪穴居群 防塁・柵 内濠 高床居 竪穴居群

## 混迷のOL組織

長い間、独立した組織を、と言われ続け、具体的に準備委員会が設けられてからも既に2年近く、現在はどうなっているのでしょうか。近ごろは情報も少なくなってきました。会長人事、事務所等の問題も解決に向かいつつあり、近いうちに新組織の活動が動き出すとは思いますが…。

“個人としてOLを楽しむだけなら、組織なんてどちらでも良い”なんて言ったりしていますが、決してそうではないと思います。OLをスポーツとして、普及し、大会等を開催していくにはしっかりとした組織が必要になります。

ただ、現在のように旧から新への過渡期であっても事務の停滞は避けたいものです。今、会としてJOLCに対しての事務的事項はありませんが、例えば指導員の更新、100キロコンペの申請等々、OLを一般に楽しんでいる方々から遅すぎる、との声を聞きます。私達のように、少なくともJOLCの情報が入るものからすれば、“現在、財団でのOL担当者は時田氏ただ一人のため、仕方の無いこと”とも思ってしまいますが、これではだめなんじゃないかと思えますよ。現在、地方ではどれだけ要望があるか、やっぱり声を出していかないと中央ではわからないんじゃないかと。

勿論、新組織に対しても《規定の改定》《選手登録の問題》《登録費等の金銭面とその運用》《大会等の開催始め行事の実施》等々、今後OLをしていく上に於いて重要な問題が上げられます。これらに対しても“勝手にしてくれる”と傍観しているだけでなく、声を出していくべきでしょう。

いかにOLを楽しむか、私達自身の組織にしていくためには、たとえ素朴な疑問、意見でも声を届けましょう。新組織に対しては、近畿地方代表の準備委員としてお力を戴いている府OL委の仲川さんに伝えれば良いと思いますから。

SPORTS FOR ALL オリエンテーリングは、私達自身のスポーツですよ。

JOLC・新組織に対しては下記宛に

JOLC = 〒105 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34 森ビル6階

日本オリエンテーリング委員会 時田 政之委員長代行 宛

新組織 = 〒540 大阪市 中央区 森之宮中央2-13-33

大阪府オリエンテーリング委員会 仲川 寿男 様宛

# 府民OL太子の里大会 1 1 / 1 2

当日、午前6時より行動を開始してくれた寺田夕氏、北川氏、坂本氏ご苦労様でした。当会より4名が、運営に参画しましたことをまず報告致します。

大会は、昨年と違って快晴の下で行われました。会場となった大阪芸術大学には、午前7時スタッフ集合。運営の塚田、競技の辻村各委員長よりの指示の下、各セクションの準備スタート。私自身は、全般の係り＝雑用係として用具の運搬、要員の配置等に、愛車共々動き回らせてもらいました。

そうこうしているうちに、早参加者の皆様が見え始めます。雑用係としては次に、ゴール後のゲームOLの準備にかかりスタンバイOK！けっこう何やかやと動いているうちに時は経過していきます。もう表彰の時刻となり、皆さんOLを経験し、その余韻を楽しんで戴いているようです。

結果的には、昨年とほぼ同じの302名の参加者でしたが、府下全OLクラブの合同行事として運営等が手慣れてきたのではないのでしょうか。今後の課題としては、やっぱり参加者数を上げることと、各クラブの今一步の協調ではないのでしょうか。

そのためには、大会の開催予定を前向きに検討し、できれば1年後2年後の大会まで早めに決定して準備にかかることではないかと思えます。地域的にも大阪の北部、南部そして東部と広がり、地域の普及につなげることができます。子供会等の団体にも、年度当初から予定に組み入れてもらえるだろうし、なんと言っても、開催地の地元の方々にもっと参加して貰えるよう努力するべきだと思えます。

これから、今大会の反省会も開かれるだろうし、府OL委員会の席上でも提案があるかと思えますが、当会としても積極的に提案し、協力して行きたいと思っています。会員各位も運営に、参加に積極的に拘わって欲しいものです。

<瀬戸 照久>

《参考までに》

|          |            |       |      |         |    |
|----------|------------|-------|------|---------|----|
| OL箕面大会   | S63.10.30. | 参加者総数 | 303名 | 当会の運営参加 | 7名 |
| OL太子の里大会 | H 1.11.12. | 参加者総数 | 302名 | 当会の運営参加 | 4名 |

# バルーンも上がった、ロマンにもふれた、西日本大会旅行 T.SETO

11/19は、九州は佐賀県伊万里市での西日本OL大会。

九州のテラインは初めてであり久しぶりの遠征ということで楽しみにしていた大会でした。交通機関は、主に経済的な理由から（～つまり安い！）深夜バスを利用、これが時間的にもゆっくりできて、結果的にごきげんな遠征ということになった次第。

まずは佐賀県の地を踏んだ18日から、世界熱気球選手権の開幕となり早朝より会場へ見学。ただバルーンが上がるだけと思っていたのが、広々とした佐賀平野に70機近くの大きなバルーンが一斉に浮かび上がる様は、自然とほほ笑みが浮かんできます。風を探すバルーンの競技は、壮大な人類の夢を感じますね。惜しむらくは、会場での売店で“写るんです”カメラを買い求めたのですが、パノラマやワイドが無かったことですね。強っさんならきっと雄大に風景をカメラに納めたことでしょうね。

その次に訪れたのが、今話題の“古代へのロマン吉野ヶ里遺跡”。早速レンタサイクルを借りてサイクリング、静かな佐賀の郊外を走るのは気持ちの良いものです。そして古代へのロマン吉野ヶ里遺跡へと着いたのですが、もう一つピンと来ません。教養が今一つ少ないからなんですかね。遺跡が立派な建物で保護されていたり、復元されていたりしているのが“遺跡公園”みたいになってしまっています。ただ雰囲気としては気持ちが良かったことは確かです。

いきあたりばつたりに行動している大会前日だったのですが、せっかくの遠来の地、観光にも欲を出して、もう一つ佐賀城周辺もと思っていたのが、何だかお空の雲行きが怪しく、予定しているトレコースに直行。結局は天気も持ち直したのですが、時間的にも良かったみたい。トレコースを担当して戴いたクラブの方、ご苦労様でした。ただ、後から来たグループの言動が少々気になりました。

OLは大会にしる、トレコースにしる多くの方がご苦労をして戴いているのを忘れてはダメです。参加する者にとっては、運営している方々と共に楽しめるように、気持ち良く接したいものです。と言っても今回は、わりと親切に丁寧に準備して戴いていたように思いました。

ともあれ、後の前日予定は温泉につかってビールをキューと一杯することだけです。

19日、いよいよ当日、バスの所要時間等がはっきりしないためタクシーを奮発。そのため相当早く会場着。スタッフの準備を横目に、吉備路の野営地へ赴きしばし談笑。その後、早めに更衣所の体育館へ入り、持参したKOLAの旗をデカデカと掲出。島根県団体、吉備路達とかたまり、情報交換や談笑をしているうちにはやスタート時刻は迫り、いざ出陣！

コース戦略は、後稿を参照してください。当初思っていたタイムを修正した“目標タイム”を大幅に越えてゴールした後は、せっせとSWEAT SHOP JAPANのお手伝い。結構ウロウロするよりも、皆が顔を出す場所なので多くの方々のお顔が拝見できましたよ。

でもお会いしたメンバーは、いつもの顔がやっぱり多かった！？

## 宝塚市民フェスティバル&枚方山田池、両〇L疲れ歩記

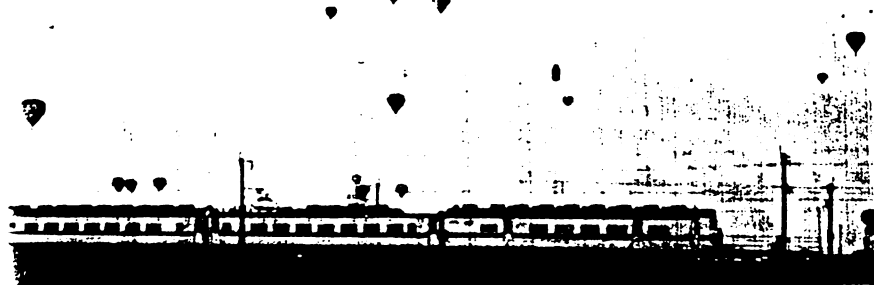
二人の娘も高校生、中学生になると、それぞれにクラブ活動の関係で休日と〇Lの開催日が合わず、一緒に参加できる機会が少なくなった。その代わりに今まであまり出たがらなかった家内を引っ張り出して、11月19日の宝塚・26日の枚方山田池と2週連続で参加。先ず19日の宝塚、朝8時過ぎに出発9時半頃到着、寒い！お土産の栗だけもらって帰ろうかしら、でも気を取り直してとにかくスタート地点へ、係の人いわく「混合組は今のところあなた方で2組目」内心“参加が少なければ入賞も”と思いつつスタート、このあさはかな考えがいけなかった。一触即発、夫婦喧嘩寸前のところで何とかゴール、速報を見てびっくり、途中で追い越された覚えがないのに6組？も張り出されている。かなりチョンボをしたらしい。弁当を食べてそそくさと退散、車の中では夫婦の危機も消えて家内はよく眠っている。ア～ア俺も眠たいなと、あくびを噛み殺しつつ家路につく。(久しぶりに游さんのお顔を拝見、寒いということでトレードマークのげたばきではありませんでした)

毎日新聞の大阪ひろばの欄で、豊中〇LCの枚方山田池オリエンテーリング開催の記事を家内が見つけて、寺田強さんを誘って参加。現地9時半過ぎ到着、先週とうってかわって良い天気ですそう寒くない、おおまかなクラス分けだから家内とグループで、強さんは個人で、競技法はフリーポイント・マスターマップ方式公園内だからそう広くはないが、ポイントが18ヶ所もあって、よほど注意しないと通過してしまう、ゴールして指摘されもう一度探しに行く人もいたくらいで、中には一番遠いポイントを通過してしまった人も(私達ではありません)今回はこれといったミスもなく、喧嘩にもならず無事ゴール、帰りに“ザ・めしや”

(当世風一膳めし屋)で何年ぶりかで、中飯に味噌汁とおかずといった昼食を食べて帰宅。宝塚の後、何日かは筋肉痛で困ったが、後の方は前の分のおかげで筋肉がほぐれていたらしくて、それはありませんでした。

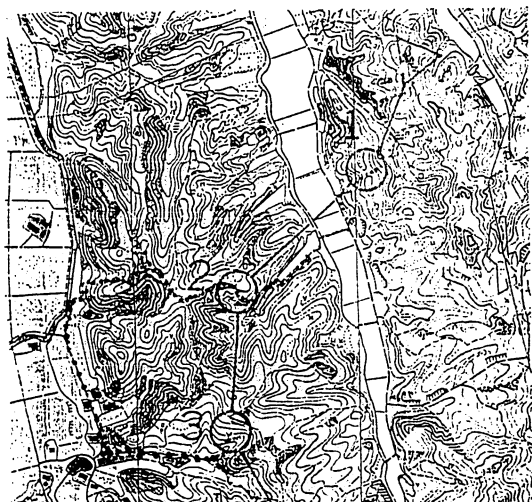
子供との参加は減るだろうが、これからは競技といった感じではなく(元々私が〇Lを始めたのは家族で楽しみたいと思ったのがきっかけだから)地図読みハイキング(豊中〇LCのコピー)という感覚で参加させてもらって、夫婦で楽しみたいと思います。

えす・えぬ



H35Aです。当初の目標タイムは、過去の同クラス成績から90分以内とっていた。それがスタートまでの道程で、今回は距離7.5Km、そして13ポスト、単純にキロ10分としても75分、1ポスト所要10分でも130分。“90分なんて到底無理だな”と自覚して目標タイムの修成。まず130分、悪くても150分を設定してスタート！

スタートポストは、スタート枠より50m先ピーク。そのピーク先から沢をかけおり池の縁へ…のつもりが池まで降りてしまい、ズボッと足首まで入ってしまう縁を伝って小道へ出る。最初の鞍部を確認して昇る。N01、OK！。すぐさま沢をかけおり道へ、ラン快調、畑を横切り、池をチェックして小道へ。沢をコンタリングで穴N02、よしOK。次へは“南の小道へは緑の植生を伝って尾根走り”と判断。



少しの緑を突っ切り植林地へ出る。コンパスをあてながら走るが“ン？”方向がおかしい。いつか

現在地が判らなくなる。戻ろうとすると後続のランナーが、つられて走るがちょっと不安。判らない時は判り易い所へ出ること。川筋へ出て初めて確認。なんて所へでたんだろう。仕方ない、走れ。地元の方達に“今日は”と挨拶をして道の分岐へ、トップスタートの佐藤さんに会う。同じミスだとか。後でジックリ地図を読めば、池の先から沢を昇るコース

がベストなんだろうな。小道の分岐からN03の凹地へOK。ここでもう中尾氏に追い付かれる。佐藤さんはどこへ…（これも後で地図を見て判ったけれど、少し上の小道へ出れば良かったか）でも、私は再度分岐へ戻って小道走り、小道の終わりからコンタリングでガケポストN04、OK。でもなんと！ここで福田氏に出会う。だって14分も後のスタートだよ。追い付かれてもまだ先の事とっていたのに。ただその後、進む方向が違う。私は尾根を走ってから開けた沢を下る。道へ出ると前方に中尾氏の姿が、追い掛ける。杉林の中の昇り、息をきらしながらN05へOK。中尾氏に追い付けないまま小道を昇り下って池の周回道へ出る。左手に小池…と思いながら走っていると“またまたン？”確認のためコンパスを…と思い気や負い！コンパスが無い。落とした、どこで？多分5番の所だ。パンチに気を取られていたからと思う。どうしよう？戻りかけたけど、小道の昇りを目の前に

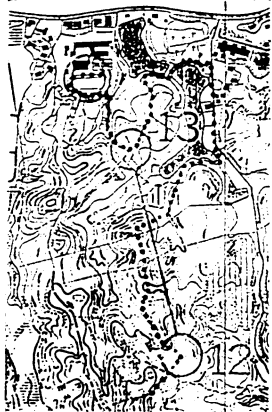
| H35A, H40A |     |       |             |     |   |
|------------|-----|-------|-------------|-----|---|
| ④ D21-A    |     | 7500m |             |     |   |
| S          | △   | ○     |             | ↑   |   |
| 1          | 207 | )     |             |     |   |
| 2          | 217 | V     | 2x2         | ♀   |   |
| 3          | 219 | U     | 3x3         |     |   |
| 4          | 229 | m     | 1.5         | ↓   |   |
| 5          | 234 | ∩     |             |     |   |
| 6          | 236 | ⊗     | 0.5<br>x 70 |     |   |
| 7          | 237 | ⊙     | 2x3         | ♀   | ☾ |
| 8          | 239 | U     | 2x2         |     |   |
| 9          | 233 | m     | 5.0         | ♀   |   |
| 10         | 249 | m     | 2.0         | ↓   |   |
| 11         | 257 | ↓     | m           | 2.0 | ↓ |
| 12         | 264 | U     | 2x2         |     |   |
| 13         | 999 | /     | Y           |     |   |

○-----250----->◎

して諦めてN。6をパンチ。慎重に地図読みだけのラン。沢を下って道走りで炭焼き釜跡のN。7、OK。地形の確認、小道のラン、尾根の凹地でN。8、これもOK。やや！またまた福田氏に会う、シメシメまだ天は我を見捨てず？ここで欲を出したのが失敗。尾根を伝って直線狙い、と出たのが間違いの元。尾根から小道へ出たのは良いけど、コンパス無しでは現在地の確認が出来ません。必死で地形と合わすも判らん。そうこうしているうちに他のランナーの姿が…地獄に仏と後をついて沢を昇って尾根道へ出る。チラッとポストが“N0は240”違う『ここはどこだ〜』またまた仏？財間さんに出会い、現在地を教えてもらう。やっと安心、欲を出さず慎重に、を再認識してN。9へOK。慎重に慎重に小道を走ってN。10。慎重にサマリーディングを！ N。1



1では小道から狙って若干のロス。でもOK。残りは二つ、ランナーも多くなってきた。トリム参加のグループとも出会う。えてくる。N。12もOK。気が道の先から西方の沢を下って道へ下ってしまっている。(勿論、ゴに出ようと尾根越えを狙って“ン来ないのがもどかしい。ただ、会の方角に進路を取る。やった？池考えてみれば、遠回りのコース。を行くほうが速い、と考えたんだか。それでも最後の力を振り絞らなかった。



ランナーの流れからもルートが見ゆるんで注意も散漫。自分では小出るつもりが、もう一つ北の沢をール後判ったことです)更に直線?“おかしい、コンパスで確認出場の放送がよく聞こえる。その声へ出た。後は走れるだけ走ろう。でもその時には、はっきりした道です。なんとムダなルートだったのでゴール。タイム150分は切れ

### 全日本では頑張ろう〜と！？

※ゴール後、手伝いとかで遅くまで会場におり、更衣所の体育館を出たのが最後に近かったのですが、なんと汚いこと。ゴミが散乱しています。オリエンティアーなら自分のゴミは勿論、回りのゴミ等まで整理をして、会場として利用させてくれた感謝の気持ちを表して欲しいものです。曾根崎先生(OLP)率いる博多中学の生徒が、爽やかに清掃してくれていたのが救いでした。(私も、保さんも手伝いましたよモチロン)

またもう一つ爽やかだったのが、地元の小中学校生徒の大勢の参加と、元気に明るく挨拶してくれることでした。笑顔と明るい挨拶、どこの地域でもどの国でも通じる、人と人との“ふれあい”が感じられました。佐賀県OL委員会の皆様、有り難うございました。

### 速 報

|      |   |      |           |       |    |      |           |
|------|---|------|-----------|-------|----|------|-----------|
| H35A | ① | 福田良雄 | 1' 47" 02 | ⇒⇒⇒⇒⇒ | 11 | 瀬戸照久 | 2' 31" 40 |
| H40B | ① | 小嶋慎一 | 1' 24" 28 | ⇒⇒⇒⇒⇒ | 5  | 寺田 保 | 1' 56" 15 |

会場はバス停を中心に農協や二三軒の店が散在する所に接した小学校で、奥に山を配し全体が丘陵地といった所か。その会場へも誰よりも早く到着し朝食（パンをかじった）を取った。

体調はすこぶる良く、前日の夕餉に麦酒を戴きましたが、早朝までぐっすりと布団で寝れ爽快(refreshing)である。天候も良く、ユニホームだけだと少し肌寒く感じるが、日差しがあるのでありがたい。

規定時間はクリアしたものの入賞ならず残念だ、今年の全日本もH40Bのエントリーに甘んじるしかない、まったくの自信解失(loss)に終わったAへの壁は厚い。大きな失敗は2ヶ所、ルート選択の誤り（尾根伝いに行くべき所を沢へ下りまた尾根登り）、実際は地図がよく読めてない。そしてあの長い上り坂の後横道へ反れた、みんなの後を付いていだけでいいのを馬鹿なことをしてしまった。最大の原因は疲れた時に飲む固形蜂蜜剤を持っていたのも忘れたことである。

我々B愛好家としては観光を主目的としたくなるのが人情である。前日は深夜バスで朝7時頃佐賀駅到着さっそくバッグをコインロッカーに入れ、駅前へ何あーもないね。瀬戸さんは使い捨てカメラのワイドを買いたかったんでしょうが、フジフィルムでは有りませんでしたよ「Kodakのパノラマ」でしたよ強さんの記事（KOL A69号おもしろカメラ2）を良く見て無かったの、あっちこち捜したね。「えらっそーに自分もやないか」瀬戸 後日談

通学生であふれる列車でバルーン佐賀臨時駅へ朝もやともいふべき空に色とりどりの気球が大空一面に漂っている。これだけ見に来るだけでも一見に値する、素晴らしい。

バルーン佐賀駅を後に三田川駅(MITAGAWA STATION)へあの有名な吉野ヶ里遺跡である。駅に降り歩こうかとししばらく考えていると、貸し自転車屋さんが目の前に、金200円を支払ってサイクリングだ。10分も走らぬ内に観光バスや自家用車の見物客でにぎわいだす。プレハブ作りのみやげ物店、その奥の駐輪場に止め順路をたどると、墳丘墓の発掘現場をそっくり建物で覆って展示場となっている。半身大のかめ二つ口を合わせて棺、甕(KAME)棺墓を発掘のまま囲ってある。「2000年の逆未来」のキャッチフレーズが頭をよぎり我々の思考以前かなた空白の世界が見えているのか！ この時代にガラスの管玉のネオンの青(light blue)がモノトーンの立体画面にいつそう不思議を思う。

映画アラモの砦を思い起こすような荒木の先端を尖らし柵を巡らし、その中に萱葺の住居や物見櫓等の復元された物をのんびりと見学させてもらった。中でも物見櫓が本当に復元どうりだとすれば、大きな柱と木組の精巧さに古代とは思われませんでした。

バルーン世界大会、吉野ヶ里遺跡の公開、西日本OL大会、このトライアングルイベントに千載一遇(Golden opportunity)のチャンスを得て佐賀を訪れられた記念に、ここに記すものです。

NOVEMBER 1989



|    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  |    | 2  | 3  | 4  | 5  |    |
| ア  | ウ  | ト  | サ  | イ  | ダ  | -  |
|    |    | 6  |    |    |    |    |
| タ  | ♥♥ | オ  | ン  | カ  | ン  | ◆◆ |
| 7  |    |    |    |    | 8  |    |
| ツ  | チ  | ノ  | コ  | ♠♠ | ゴ  | リ  |
| 9  |    | 10 |    |    |    |    |
| チ  | ♣♣ | リ  | ン  | ゴ  | ♥♥ | ◆◆ |
| 11 |    |    |    | 12 | 13 | 14 |
| メ  | シ  | ♠♠ | ♣♣ | A  | コ  | ク  |
|    |    |    | 15 |    | 16 |    |
| ン  | ♥♥ | ◆◆ | ○  | ♠♠ | カ  | L  |
| 17 |    |    |    |    |    |    |
| ト  | K  | ダ  | イ  | ♣♣ | ン  | ♥♥ |

左記のようにクロスワードを解いて  
アルファベット“A”“O”“L”“K”を  
抜き出して並べ替え“KOLA”が、正解で  
す。

正解者多数につき“抽選の結果”と言いた  
いのですが今回も当会員の寺田強氏1名だけ  
でした。

今回の賞品は、来年の干支、午の色紙、も  
ちろん額入りでお送りします。

それでは皆様良いお年をお迎えください。

見直しませんか”日本語”を T/T

先日、〈日本語の再発見〉という本を読んだ。その中で、日本語の”みる”という言葉一つとってもいろいろな言葉がある。〈見、看、観、察、診、視、覧……〉など、家族が看病するなら〈病気を看る〉、しかし医者が診察するなら〈病気を診る〉。〈さめる〉も〈湯が冷める〉、〈酔いが醒める〉であろう。

この本を読んで、もっと日本人として日本語に親しんで〈言葉〉を覚えな  
ければと、考えさせられました。日本の〈国語〉はどこへいくのか？

……日本教文社 日本語の再発見 より……

”1回の参加費で2回楽しんだOL

しばらくぶりのOLでした。中井氏と一緒に枚方の山田池公園まで行った。豊中OLの主催です。この公園は幅400M長さ800Mくらいあります。マラソンの練習によいのか皆さん走っています。

ぼくは個人Bクラスで参加。しかしこれがペナのおまけがついてしまいました。スタートしマスターマップを写し、元気にかけだしたが〈15〉がない。つぎは〈3〉もない。取り合いずゴールまで他のポストを取る。フリーポイントなので、今度は逆に走る。〈3〉は見付かる。湧水点の位置の違い。問題の〈15〉はやはり無い、しかしあとで中井氏に聞くとやぶの中にあつたとのこと。”あれほど捜したのに”と、あとの祭りのOLでした。

# 平成元年度, 残りの大会へ

平成元年度もいよいよ終盤へかかります。

私は、一年の締めくくりを全日本大会への出場ととらえてOL活動をしてきていますが、皆さんはいかがでしょう？ 春から夏、秋のシーズンとOLを楽しませてもらってきて、自身のトレーニングなり、レベルがいかにアップしたかを発揮する場であり、大いに楽しむ場でもあると思うのです。ですからクラブに加入し、OLを楽しんでいる方には是非参加してほしい大会でも有るのです。

幸いにも今年度は石川県小松市。大阪からは比較的に近い北陸地方です。3月25日に開催されますが、行ける方、行ってみたい方ご連絡下さい。KOLAのツアー？（交通・宿舎等）を計画しますよ。KOLAの黄色いユニフォームが多く見られると楽しいですね。

この全日本に向けて各公認大会が開催され、特にAクラスに出場資格が設定されています。その資格とは、当該クラスで規定時間に入っていること、若しくは同Bクラスで入賞すること、です。（但し、エリートや21Aなどは別）因にBクラスには資格はありません。また、公認大会に出る機会のなかった方でも、そのクラスの実力があれば公認クラブの推薦で出場することはできます。私は、H35Aクラス。先の西日本大会ではなんとか規定時間内に入っていますので、これで全日本でもH35Aへエントリー出来る訳です。

この全日本にかかわらず、冬の間はOLの最適シーズン。毎週どこかで大会が開かれています。その中から、会場までの距離、そのテラインへの期待感、主催者への期待感、それに家庭の都合等でどこに行こうかな、と決めている訳ですが、有る程度の大きな大会では、2～3ヶ月前には申し込みを締め切ります。

1/14のウエスタンカップリレーOLでは12/8。2/11の淡路の大会はもう既に終わっています(10/30)。3/25の全日本はこれから1/10～1/19。そして4/29の大阪OLC主催の公認大会では2/17～3/10 となっています。

全日本、大阪OLCの大会はまだとして、1/14のウエスタンカップリレーOLでは当会から多くの参加を期待したいものです。この原稿が読まれる頃には、もう申し込みが終わっているでしょうが、果たして4、5チームと申し込んでいるのでしょうか。

また、2/11の淡路での大会には、当会から瀬戸・寺田ツ・寺田タ・佐藤・北川・米沢の6名が申し込みをしています。今から楽しみにしていますが、当日申し込みもできます。（但し、個人はオープンクラス）これも行ける方、行きたい方ご連絡下さい。

何はともあれ、オリエンテーリングは参加してこそ楽しいものですよ！

1 / 14 ウエスタンカップリレーOL大会  
3 / 25 全日本オリエンテーリング大会  
岸和田オリエンテーリング協会

# K O L A 地 日記

4 話



## 酒倉 OL PART 2

昼食のとき



TVカメラで

どこのからあいてに  
たのまれたん  
ですあかー

お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

お姉さん  
お姉さん  
お姉さん



お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

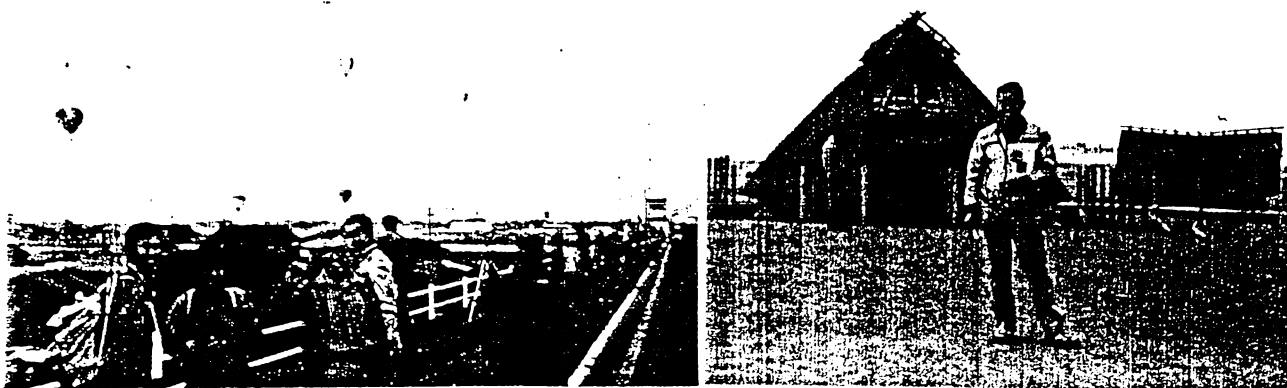
お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

お姉さん  
お姉さん  
お姉さん

## OL大会情報

- 1 / 3. KOLA' 90 新春OL : 岸和田城二の丸公園 ⇨ 締切 12 / 20  
 7. 山口大学OL大会 : 秋芳町 締切 11 / 22  
 新春ニッポンOL大会 : 瀬北森林公園 ⇨ OLP 締切 12 / 16  
 14. ⑥第6回ウエスタンカップリレー : 衣笠山 ⇨ 関西学連  
 2 / 11. ⑥社会人OL選手権 : 洲本市 ⇨ OLP 締切 10 / 31  
 18. 多気町OL大会 : 五桂池ふるさと村 ⇨ 多気町OL協 締切 1 / 31  
 3 / 25. ⑥全日本OL大会 : 石川県小松市, ⇨ 石川県OL協 締切 1 / 19  
 4 / 29. ⇨ 隠れ切支丹の里OL大会 : 茨木清谷小 ⇨ 大阪OLC, 第1日目  
 [公認] ⇨ 申込 2 / 17 ~ 3 / 10 ⇨  
 30. ⇨ 2日大会第2日目 : ??, ⇨ 大阪OLC,  
 5 / 3 ~ 4 白州OL2日間大会 : 山梨県白州町 ⇨ 多摩OL [公認]  
 6. 中日東海ブロックOL大会 : 岐阜県美濃加茂市 ⇨ 岐阜県OL協  
 [公認]  
 13. 京大大会  
 91 / 10月 国体記念公認OL大会 : 石川県金沢市 ⇨ 石川県OL協 [公認]



## Aiming

左の記述は極く最近発売され逸見政孝が宣伝している日本語大事典のオリエンテーリングの説明文です、子供の遠足の域を脱しえないのが残念です。これにもの申す人あれば発行元、住所、TELを同時にコピーしましたのでお願いします。

今年は年号が変わり、いままた東欧の動きにもあるように世界の歴史が変わろうとしています。KOLAも若い人達が牽引力となって他にない素晴らしいクラブを発展させて欲しいですね。今我々は充実の刻を重ねたい。

発行——一九八九年二月六日 第一刷発行  
 監修——梅棹忠夫・金川一彦彦・阪倉篤義・日野原重明  
 発行者——野間 佐和子  
 発行所——株式会社講談社  
 講談社カラー版  
**日本語大辞典**

〒二二一〇一 東京都文京区音羽二二二—二二  
 電話 東京〇三一九四五—二二二 大代表  
 印刷所——大日本印刷株式会社

オリエンテーリング [orienteeing] ハイキングを競技化したもの。山道、森などにコースを設け、地図と磁石を使い、指定された地点を徒歩で通過し、早くゴールすることを競う。オリエン (Orient) [ラテン語のオリエン (日出) に出米] ① エジプト・メソポタミアを中心にしたラン・アナトリア・シリアを含む地域。② 東アジア地域の総称。



燃える天野山 方...

# 朝日・関西オリエンテーリング大会

平成元年12月3日(日)

関西サイクルスポーツセンター15周年  
K. C. S. C. OI.クラブ 10周年

主催/朝日新聞社  
財団法人自転車センター  
関西サイクルスポーツセンター  
主管/K. C. S. C.オリエンテーリングクラブ



H17A (OA)  
9.800m

- 1 ■ ○
  - 2 ↓ ↗
  - 3 / Y
  - 4 > <
  - 5 ··· Y
  - 6 ≡≡≡
  - 7 > J
  - 8 ↗
  - 9 / <
  - 10 ≡≡≡
  - 11 / <
- <130> ⊙

- 地図記号
- 主要道路
  - 道路
  - 道
  - 小道
  - 小径
  - 植生界
  - 通行不能
  - 送電線・高塔
  - T — 石碑・祠・小塔・墓
  - 建物
  - 主曲線・計画線
  - 二水・大小
  - 凹地・大小
  - ∨ まれつ・穴
  - ≡≡≡ 土がけ・通行可能・不能
  - ≡≡≡ 岩がけ・通行可能・不能
  - 池・沼地
  - 河・せき
  - 川・溝
  - 小池・井戸・水堰
  - 家敷・庭・耕地
  - 空地・荒地
  - 伐採地・植林地
  - 果樹園
  - 水田
  - 鹿田・濃地
  - 通行困難
  - 歩行可能
  - 歩行不能
  - 倒木
  - 遺跡地
  - 教護所

# 第6回宝塚市スポーツカー

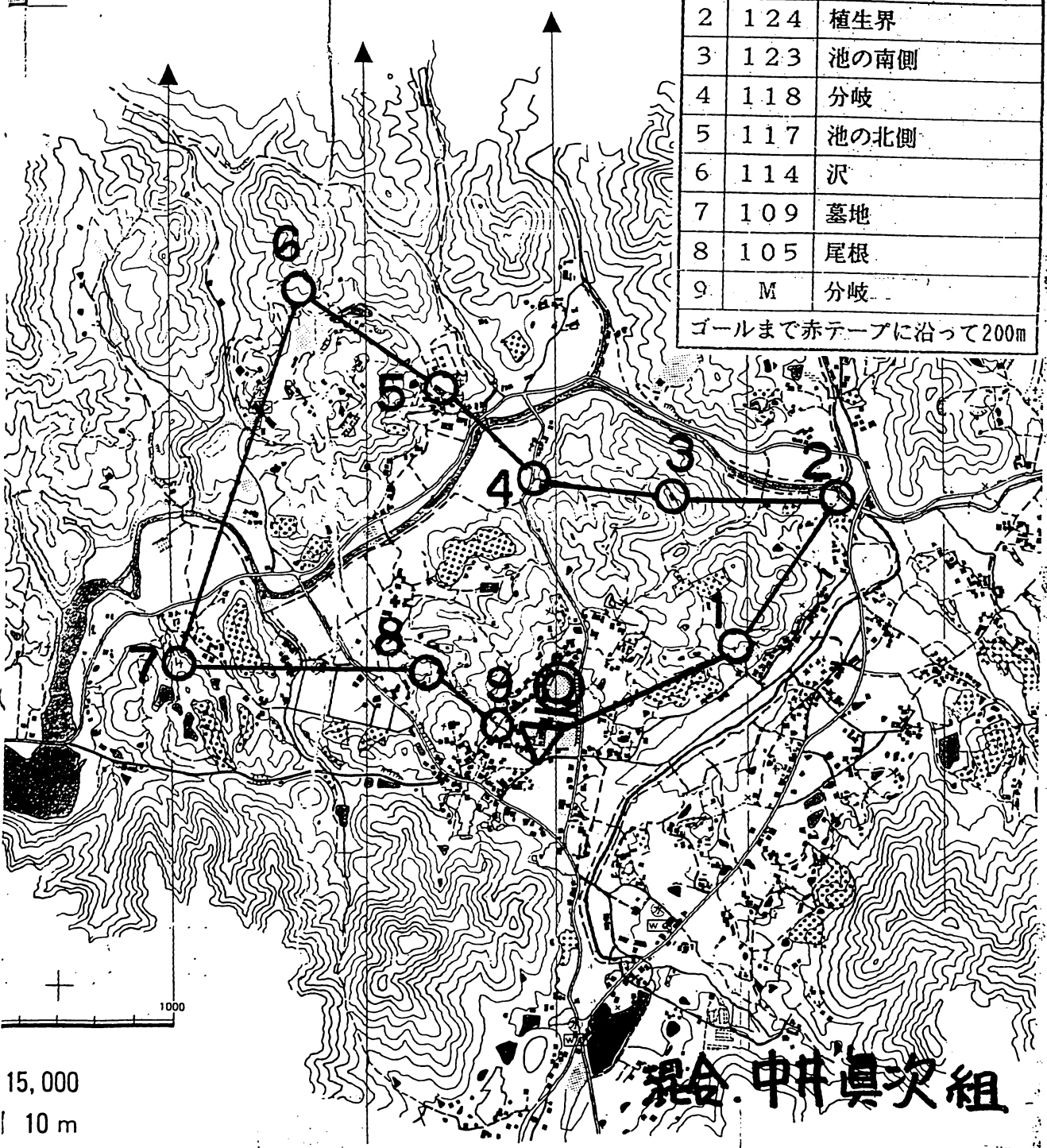
(第16回宝塚市オリエンテーリング大会)

# 宝塚西谷

1989. 11. 19開催

| B | 男子組 | 混合組  | 5km |
|---|-----|------|-----|
| 1 | 126 | 墓    |     |
| 2 | 124 | 植生界  |     |
| 3 | 123 | 池の南側 |     |
| 4 | 118 | 分岐   |     |
| 5 | 117 | 池の北側 |     |
| 6 | 114 | 沢    |     |
| 7 | 109 | 墓地   |     |
| 8 | 105 | 尾根   |     |
| 9 | M   | 分岐   |     |

ゴールまで赤テープに沿って200m



混合 中井真次組

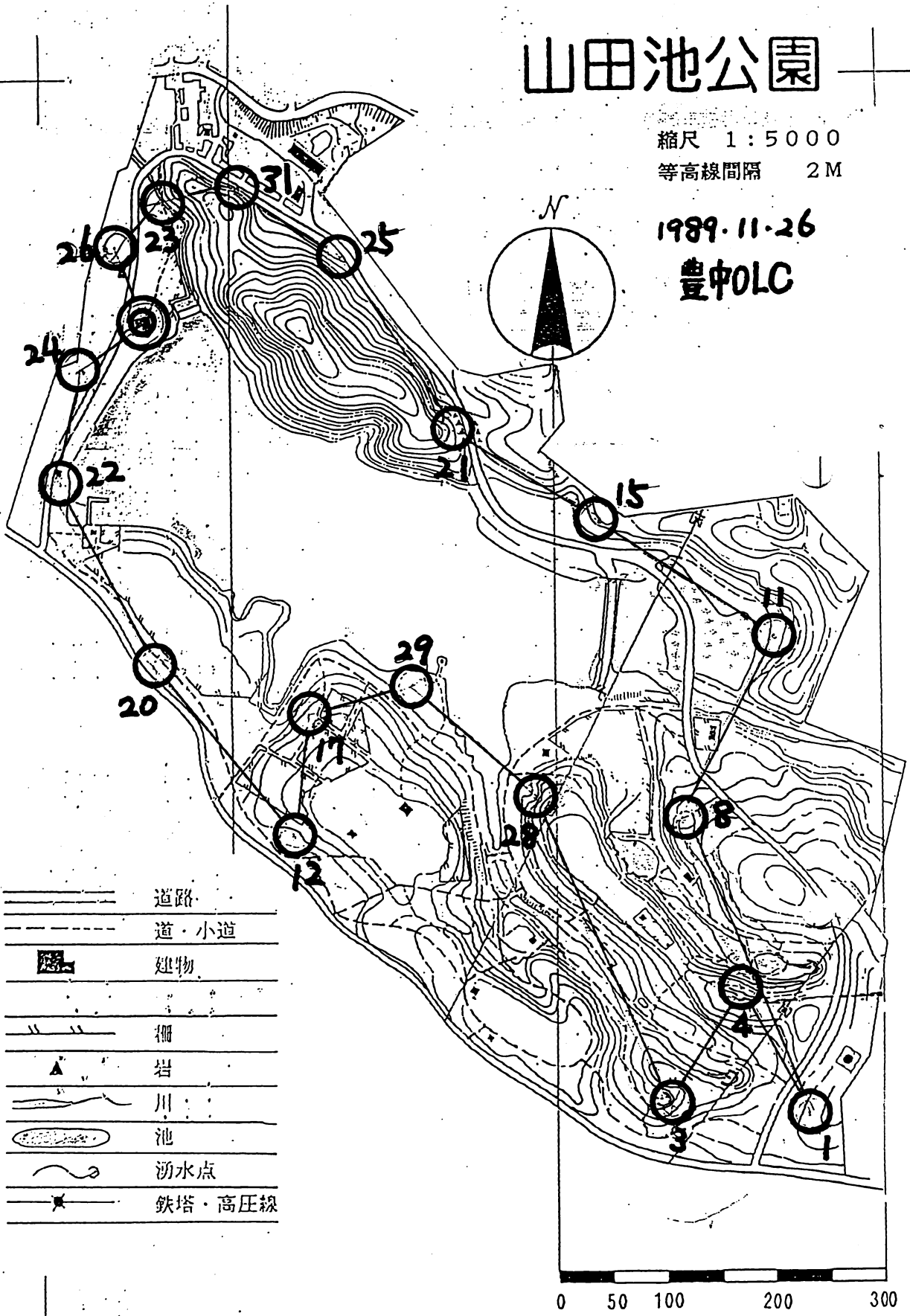
# 山田池公園

縮尺 1:5000

等高線間隔 2M

1989.11.26

豊中OLC



|  |        |
|--|--------|
|  | 道路     |
|  | 道・小道   |
|  | 建物     |
|  | 柵      |
|  | 岩      |
|  | 川      |
|  | 池      |
|  | 湧水点    |
|  | 鉄塔・高压線 |

0 50 100 200 300





